

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ICT法務マネジメント Legal Affairs Management of Information and Communication Technology		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営組織論、知財戦略マネジメント論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、ビジネスイノベーション論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館2F (研究室4)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
個人情報保護とは、個人のプライバシーにかかわる情報を漏洩(ろうえい)や改竄(かいざん)、目的外の利用から守ることであり、個人情報保護法の基本理念(第3条)では、「個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであり、その適正な取扱いが図られなければならない。」と記されている。本授業は、文部科学大臣許可法人「財団法人 全日本情報学習振興協会」公式テキストに準拠したデジタルテキストを活用し、個人情報保護法に精通した人材育成と資格取得を目指すものである。				
授業の目標				
ネットワーク社会及び仕事としての「個人情報保護法対策」に関し、①個人情報保護と個人情報保護法制、②企業におけるコンプライアンス事例等の基礎知識を学習し、③資格(個人情報保護法、個人情報保護士)にチャレンジできるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しつつ、毎回、模擬試験にチャレンジしながら個人情報保護法に精通した人材育成と資格取得を目指すものである。				
学習の成果(学習成果)				
①「個人情報保護とは何か」を第三者に説明することができる。 ②「個人情報保護法制とは何か」を第三者に説明することができる。 ③「個人情報保護法に関するコンプライアンス事例」を第三者に説明することができる。 ④「個人情報保護法」資格にチャレンジすることができる。 ⑤「個人情報保護士」資格にチャレンジすることができる。 ⑥1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自立した学習法を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスの解説・授業の狙いと進め方・成績評価等) / 過去問題のポイントデジタル配信			
第2回目	個人情報保護士認定試験とは?、個人情報保護法を考える①(ネットワーク社会での事例、仕事としての「個人情報保護法対策」等) / 過去問題のポイントについてディスカッション・グループワーク(1)			
第3回目	個人情報保護法を考える②(個人情報セキュリティ問題の解決技法、サイバー・ビジネスとセキュリティ・マネジメント等) / 過去問題のポイントについてディスカッション・グループワーク(2)			
第4回目	個人情報保護法の背景①(国際的・歴史的背景 / OECD8原則 / EU指令) / 過去問題の実施と解答			
第5回目	個人情報保護法の背景②(個人情報保護法の背景 / 個人情報保護の体系) / 過去問題の実施と解答			
第6回目	個人情報保護法の背景③(ISMSのポイント / 個人情報保護法制の概念 / 情報漏洩) / 過去問題の実施と解答			

第7回目	個人情報保護法制の概念(保護と利用のバランス / 法律施行令等のポイント) / 過去問題の実施と解答		
第8回目	個人情報保護法のガイドライン(民間事業者 / 行政機関 / 個人情報取扱事業者) / 過去問題の実施と解答		
第9回目	企業情報(情報セキュリティ)管理法 / 過去問題の実施と解答		
第10回目	個人情報保護法の義務と罰則 / 過去問題の実施と解答		
第11回目	個人情報保護法の基本方針 / 過去問題の実施と解答		
第12回目	個人情報と個人情報取扱事業者 / 過去問題の実施と解答		
第13回目	自己情報コントロール権の保障 / 過去問題の実施と解答		
第14回目	利用目的とセキュリティに関する義務① / 過去問題の実施と解答		
第15回目	利用目的とセキュリティに関する義務② / 過去問題の実施と解答		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	以下の3点から評価する: ①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準: 上記参加態度を全て満たす上位トップグループ。
	レポート	20%	Sのレポートの評価: ①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計4回提出予定(締切は各月末)。
	調査報告書		
	小テスト	60%	S=90-100、A=80-89、B=70-79、C=60-69、D=0-59
	試験		
	発表内容(態度含む)	10%	Sのレポート発表評価: ①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
	その他		上記評価基準に基づき成績評価: S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59
教科書と参考図書			
長江庸泰作成の「デジタルテキスト[個人情報保護法・個人情報保護士資格取得対策編 2014年度版、個人情報保護法・個人情報保護士対策講座模擬試験編(精選500題)2014年度版]」を活用する。			
履修上の留意点・ルール			
本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自立した学習法」を常に心掛けましょう。			